

# DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす

TAKAYA SHIHO

高谷志穂

ブリッツタイム(株)  
(浦和地区会)



## 【経営理念】

美術制作のプロとしてアート(美術)を通じ社会が発展する今を創造し続けます

- ・社会の変化に沿った感性と優れた技術で信頼される企業を目指します。
- ・美術で社会を夢と希望と感動で埋め尽くします。
- ・関わる全ての方々へ感謝の気持ちを忘れず、安全を最優先し働きやすい環境でライフワーク(天職)として全うできる企業作りに努めます。

川口市内の現場でインタビューをした高谷さん、その姿は、Tシャツにジーンズ姿、美術製作のプロ意識を感じさせる職人そのものの姿でした。誰もが知る、人気テレビ番組で使用されている看板、大道具、小道具及び衣装等の立派な道具に囲まれる中、お話を伺いました。(P8へ続く)

2021 - 11 November  
VOL.522 毎月1日発行

特  
集

16地区会の自慢

<https://www.saitama.doyu.jp>

社長の  
学校<sup>®</sup>

# 16 地区会の自慢

お隣の地区会がどんな特色があるか知っていますか？  
これをきっかけに興味のある地区会の例会などに参加してみませんか？  
他地区の強みを自地区に生かせるかも!?

## 地域愛にあふれた川口地区会!



鳩ヶ谷高校課題解決型プロジェクト始動

### 川口地区会

埼玉中小企業家同友会の中でも一番歴史の古い地区会、川口地区会。現在の会員数は令和3年8月11日現在で57名、男女

比は男性36名女性21名と女性比率は県内でトップ、女性の活躍も目覚ましい地区会となっています。

また、会員拡大も精力的に行っていて令和2年度の会員拡大数7名、増加率は114.9%。こちら県内トップとなっています。同友会で共に経営を学んでいく仲間が拡大中です。先輩たちが温かく受け入れてくれているので、新入会員や若い層の会員も一緒に和気あいあいと活動できるのが川口地区会の特徴です。

近年は川口市役所経済部と連携し、地域の産業活性化、地域の問題解決を図るための「地域未来委員会」を立ち上げました。また、市内の公立高校にて「課題解決型プロジェクト」(共同求人委員会窓口)を行い、実際の企業の課題を通じて、生徒たちに人間関係形成・社会形成能力などを身につけてもらうと共に、地域企業の良さを伝える活動もしています。これも、古い歴史のある川口地区会の先輩方が脈脈と市との関係を築いて来て下さったおかげです。そのバトンを受け取り、次世代の経営者につないでいく、その流れを作れることが、川口地区会の強みです。

(山室奈美 記)

## 戸田・蕨地区会の自慢

### 戸田・蕨地区会



会長バトンタッチ!  
17代池田氏→18代小山氏へ

ボートのまち「戸田」と宿場のまち「蕨」の小さな二市からなる少人数の地区会ですが、アットホームでレベルの高い活動が自慢です!

●飲んだり、一緒にゴルフに行ったり、ジョギングしたりと仲が良く、チームワークも抜

群! 楽しんで活動しています。

- 歴代会員から戸田市中小企業振興条例策定や振興会議参加などで行政と共に良い経営環境・地域づくりに参画するなど行政とのつながりが深く(菅原戸田市長とも知り合い)、商工会やJCなど他団体とも連携しているので、ゲストが多く参加しています。
- 世代交代が進みフレッシュな会員が元気に活動していますが、経験豊かなベテラン会員とも上下関係なく意見交換できバランスよく、よい関係ができています。
- 委員会活動に参加している人が多いので、県とのつながりもあり、県の方針や施策が地区会にしっかり伝わった活動ができています。
- 地元根付いている企業が多く、お互いにベンチマークして他社の良いところを真似したり、参考にすることで、自社に活かせる環境が整っています。

(小山展弘 記)

## 変革期だからこそ 新しいことにチャレンジ!

### 浦和地区会



地域とともに歩む浦和地区会(浦和おどり)

浦和地区会の自慢はたくさんありますが、主に次の3つです!

### 【バラエティに富んだメンバー】

ベテランメンバーから新入会員まで、真面目に和気藹々と学んでいます。幹事会や例会後のオンライン懇親会

では夜遅くまで経営談義に花が咲くことも。近頃は会歴の浅い会員も運営に積極的に関わっていただいております、新しい風が吹き始めています。

### 【新しいことにチャレンジ】

コロナ禍において、ITに詳しいメンバーを中心に、いち早くリモートでの幹事会や例会を開催しました。今年度のリモート例会はさらに進化し、Zoomの標準機能だけでなく、新たなツールの活用を取り入れるなど、この変革期を前向きに捉えています。

### 【地域活動にも積極的】

毎年恒例の浦和おどりに「浦和地区会連」として参加した

り、SDGsの観点から地域のランドマークの別所沼公園の清掃活動を計画するなど、地域とともに歩む中小企業を目指しています。

(大森靖之 記)

## おおみやひがしちくかいというもの

### 大宮東地区会



大宮東地区総会にて

おおみやひがしちくかいはとてもよいちくかいです。ひとことではとうじゆうです。

たいとるからげんこうまですべてひらがなでかいてもおこられませんか。そーゆーちくかいです。

冗談はさておき、いやまあ冗談でもないのですが、このような空気の地区会であります。

任せた方が企画したものには、ネガティブな意見はなく、前向きな意見で盛り上げます。

例会を任せられ企画しやすい環境というのは非常に良い事。企画に時間を使った分、自分が一番興味のあることができるので、自分の経営への解決策を見出す事へつながります。

自分の困ったを解決出来る。これは入会年度が若い人でも変わりません。

どんな企画でも学べる、どんな意見でも前向きに捉える。誰でも居やすく笑いの絶えない地区会。

だからぼくはおおみやひがしににゅうかいしてよかったです。

おしまい

(柴田大智 記)

## 大宮中央地区会 ここが大好き

### 大宮中央地区会



大宮中央地区総会にて



ジビエのお店で新年会

確かに「いわゆるお勉強好き」が集まった地区会ではありません。そんなことは、たいした問題ではありません。

私たちの団結力は「ピカイチ」です。お互いの肝を掴んでいきますので、上辺だけのおつきあいはあり得ません。お酒の宴は我々の大得意としていて、毎年1月には、「ジビエ宴」(ハンターでもあるベテラン会員が持ち込んだ野生のイノシシ、熊、鳩を堪能する宴)を開催しています。そして、新しい会員さんもこの仲間たちにいい意味で巻き込まれ、和気藹々とした地区会活動を行っています。

お互いを知り尽くした仲間ならではのグループ討論は、的を射た経営課題の指摘を受けますから、会社でも実践しやすい学びが満載です。その流れからビジネス上でも地区会員同士が助け合っています。

たとえこのご時世で、参加率が下がってしまっていたとしても、我々は常に繋がっています。

(和泉紀子 記)

## 大宮南地区の自慢は、 なんと言っても"多様性"と"一体感"です。

### 大宮南地区会



大宮南地区には、会歴の長短・年齢・性別などによる格差が全くありません。今年度は女性の地区会長が誕生しましたし、会歴の浅い会員にもすぐに役が回ってきます(それが辛いときもありますが...). また、一度やると決まったら皆で皆を支え合う風土もあり、例えば全研の参加登録のスピードはいつもトップクラスです。これらは、長年かけて先輩方が築き上げてきたものですが、それを新しい会員が感じとり、引き継ぎ、発展させてきたからでもあります。

県の委員会で活躍する会員や、久しぶりに参加した会員は、大宮南地区のメンバーに会うと「ホッとする」と言います。そんな居心地の良い大宮南地区会。一見すると仲よしグループのようである、実は自然と個々の会員が成長できる場に

なっているのです。

(赤塚正樹 記)

## 西部地区会の自慢

### 西部地区会



イケメン1位 星山さん

第1位 誰もが地区会長になれる!  
1年任期だからこそ、入会5年前後で地区会長のチャンス到来!  
究極の組織づくりが学べる。これが他地区にはない唯一無二の魅力。

だから、企業の成長スピードが速い。

第2位 例会づくりのレベルが高い!

諸先輩方から脈々と受け継がれてきた歴史ある例会づくり。3か月前から企画会議、委員会全員で作り上げる完成度の高さ。

学びと実践につながるスピードがすごい。

少数精鋭だからこそ、入会間もない会員も即活躍できる場がある。

第3位 地域から世界へ挑戦する企業がある!!

(有)弓削多醬油さんなど地元で根付き世界へ魅力を発信する企業が多数。

番外編 なんといってもイケメンが多い!!会員全員ほぼイケメン??

- 1位 星山さん
- 2位 鴨井さん
- 3位 小林さん
- 村里さん

もちろん、地域の魅力も盛りだくさん。  
事業よし!住んでよし!遊んでもよし!

(綱川めぐみ 記)

## 東京の会社が わけ 入会したくなる理由

### むさし野地区会

縁あって昨年入会しました。会社も自宅も都内にありますが、入会の決め手は「おもしろそうなことが起こりそう」という動物的感です。実際、コロナ禍を乗り越えられてきたのは、バケモノ的なメンタルを持つ先輩社長たちの明るさ、強さ、温かさへ感化されたからです。そして次々新しいことに挑戦する仲間にも支えられています。

今春「むさし野地区会もり上げ隊」というチームが生まれました。精緻にマーケティングをしようという試みで、既存会員宛にニュースレターを郵送、SMSサービスを活用した例会

### 埼玉中小企業家同友会 むさし野地区会 news2021 Vol.2

発行人 埼玉中小企業家同友会  
〒338-0001 さいたま市中央区上落合 2-3-2  
新都心ビジネス交流プラザ 10F

※このニュースレターは、会員企業の株式会社レベルが運営する  
障害者就労移行支援事業所の利用者様に発送業務を委託しています。

---

#### 特集

## 苦しい時こそ「学び」と「つながり」

新型コロナウイルスの影響で、世の中が大きく変わってしまいました。でも「同友会で学んできたからこそ」のアイデア、「同友会でつながっていたからこそ」の助け合いで、この苦境を乗り越えようとして頑張っている会員企業もたくさんあります。今回は、そんな企業の中から、2つの事例をご紹介します。

同友会の

---

**山口さん**  
(株式会社 トライバル) の場合

クラウドファンディングで目標達成!新規事業を後押し!

志木市で障害者就労移行支援事業所を営む山口さんは、一昨年12月に開催された「障害者問題全国交流会(障全交)」での学びから、「障害者手帳をお持ちの方専門のフォーカリアト技術講座」を思い立ちました。しかし、開催の日程は事前の計画が・・・そんな中、埼玉障全交実行委員会が広域活動を進める中で、「悩んでいても変わらない。まずは行動」と思い立ち、クラウドファンディングでの挑戦を決め、見事目標額を達成しました。

---

**江崎さん**  
(株式会社 トライバル) の場合

長年の技術を生かした新サービス『お弁当販売』で活路!

所沢市で結婚葬祭を中心とした仕出し料理の提供サービスを行っている江崎さんは、新型コロナウイルスの影響で、売上が大幅にダウンしていることがなくならず、始めたお弁当販売でしたが、SNSや口コミをきっかけに、多くの同友会企業が利用してくれるようになりました。また、利用してくれた仲間の声を取り入れて、少しずつサービスを改良しながら、まだまだ苦境が続く業界を生き返そうと挑戦しています。

---

**むさし野・川越合同例会を開催しました。**

6月16日(水)ウェスタ川越を会場に、むさし野・川越地区合同例会を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大が止まらずに感染が拡大していますが、感染予防対策を徹底し、会場も大規模に消毒した状態で、開催に漕ぎ着きました。当日は、「事業の発展は地域に根付き、人が育つ中小企業!」一企業から企業経営、強弱な経営体制を学ぶ3つの勉強会からスタート。在野同友会代表理事でもある株式会社クラブ・ジャパン代表取締役 平田 一郎氏に経営家魂報告をいただきました。また、引き続きのグループ討論は「福音に学びコロナに打ち勝つ強者の転機大会!」と題し、定例の学びから各自の事業を学ぶ機会し、新しい発想で挑戦する仲間たちもあふれる内容となりました。一解決出来ない事もあるけど、同友会の仲間なら、良い知恵が出てきます。仲間を頼る事は恥ずかしい事ではありません。皆でこの苦境を乗り越えましょう!

---

**埼玉障全交がやってくる!**

埼玉同友会会長のオンライン全国大会!学びのチャンスをお見逃しなく!

Facebookで最新情報! #さいたま同友会

※イベントも随時公開!

告知も構想中です。この地を愛し、根を張り、自社の魅力を磨きながら高め合う仲間たち。「転んだらまた立ち上がればいいんだよ!」という陽気さで活動するスピリットが自慢で、そんなむさし野地区会が大好きです。

(古崎千穂 記)

## 東部地区会は「経営者の大家族」

### 東部地区会

東部地区会は一言でいうと「経営者の大家族」です。会員数のメリットで多業種があり、経営課題の相談も色々な視座から相談ができます。会歴の長い方も多いので、色々な経験談が聞けるのも大きな自慢です。また会長はじめ女性が多く活躍しているのも特徴です。会の雰囲気は新旧、上下関係なく気さくに話ができる大家族のような雰囲気があります。そして例会後の懇親会は辛い時は励ましあい、また切磋琢磨して邁進していく家族の絆のようなものが自然と会員間に育まれています。そして中同協の「社長の学校」ロゴマークも東部

ただの紙ではなく、「共にがんばろう!」の想いを込めた自慢のニュースレター!

4 DO YOU さいたま Vol.522

が発祥であり、自主で開拓していく精神が自然と会員に根付いています。昨年は「バトンリレー」なる会員同士の激励イベントも行い、苦しい時は全員で一致団結して実行していく団結力も大きな自慢です。

(小川洋一 記)

## 自然と実家のような 地区会になってしまった

### 中部地区会



くつろいで話ができる幹事会

実家っていいですね。誰もがいつでも帰れる場所。暖かく見守ってくれる久賀母ちゃん♡ ちょっとうるさい岡部ちー姉ちゃん♡。みんな兄弟・姉妹みたいなもんだな。叱られることもあるけど、多少悪さしても許してくれる。言いたいことを率直に言えちゃうんです。頑張らなくてもいいし、頑張ってもいい。だから和気あいあいとした雰囲気の中、なぜか自然と主体的になっていく。ほわいとカフェ(地域包括)、桶高クエスト(地域共育)、Googleで幹事会、HPへの挑戦、商工会・商工会議所との連携、大豆畑作り等、ピカイチの取組が進んでいます。そんな家族的な組織づくりを自社でも実践したいです。自分の地区がNo.1だと言えるひとが1人でもいることが中部地区会の強みなのです。

(金子昭雄 記)

## 繋がりを大切にすること

### 埼玉地区会



設立30周年記念の記念旅行(京都にて)

埼玉地区会の第1の自慢と言えば、会歴の長短に関わらず、「繋がりを大切にすること」個性あふれるゆかいな仲間たちだ

ということです。また、設立34年目を迎えており、現会長を含め26名の歴代会長で、櫛を繋いで参りました。そして、埼玉地区会といえば、やはり、リアルな交流が元気の源と言えるでしょう。しかし、コロナ禍の中、会える機会が減った事は、地区会にとって、大きな打撃となりました。そこで、5年毎に行われてきた周年記念事業が、来年35年目を迎えます。『新たな絆を繋ぐ』と題して、変化をつけた企画を思案中だと言う事です。そして、地区会ビジョンを掲げていること、未来への道標となる記録を繋げたいと思う事業も、埼玉地区会ならではの自慢の活動のひとつとなるのではないのでしょうか。

(水野浩美 記)

## ここが違うよ北部地区会 地元の偉人も自慢です

### 北部地区会



2019年から小林会長の方針でいち早く例会や会議はオンラインを導入しました。

最初はみな未経験でしたが勉

強会を重ねて導入して行きました。毎月の会議や例会、懇親会も含めて今はZoomで開催しています。総会や例会後の懇親会もZoomで開催。懇親会のオードブルは会員が経営する飲食店に注文して各自が会議前に取りに行きます。

今年に入ってからリアルで会う例会も実施しています。6月は本庄市内の歴史探索ツアー、7月は会員が経営する写真撮影スタジオに集合してプロフィール写真撮影会など、オンとオフの両方を使って会員同士のつながりを保つ工夫をしています。

北部地区出身の偉人もすごい。埼玉三偉人の一人、盲人の国学者 堀保己一(本庄)とNHKドラマ雲のじゅうたんのモデルで女性初のパイロット西山キク(上里町)がいます。

(東禎章 記)

## さくら地区会は 温かみのある強い繋がり!

### さくら地区会



会員拡大の輪がつづく

さくら地区会は、年齢・経験・業種など幅広い層の会員がいてみんな仲が良いことです。何か困ったことがあれば、先輩や同業者、同年代など様々な視点から意見を聞いて誰かがそれを助ける、さくらにはそんな環境があります。

例会後の懇親会やバスを貸し切って出かけた花火大会、餅つき、バーベキューなど、楽しさを共有し、本音を語り、切磋琢磨し合う、そんな体験を各自が財産にしています。(現在はコロナ対策でイベントはありません。)

また、ご家族や会員にとって大切な人に年一回お花を贈っています。これも心温まるさくらの思い溢れる伝統の一つです。

そして何より「同友会に入ってよかった」と話す会員が多いこと。そんな会員をこれからも増やしていきます。

(水野純子・遠藤裕行 記)



YouTube東彩地区:  
チャンネル登録をお願いします!

は高く、会内の委員会もあり、オンラインでも活発な活動を続ける地区会です。

設立7年目を迎えた今期は、初の女性会長である五十嵐洋子氏が就任しました。

就任直後から地道な会員訪問を続けており、YouTubeで会員紹介動画を毎週配信しています。既存のFacebook、HPでの情報発信だけでなく、コロナ禍で希薄になりがちな会員同士の繋がりを強め、会外への発信により会員増強に繋がろうと会長自ら先頭に立って奮闘する東彩地区の未来はキラッと明るいですヨ!

(高橋正哲 記)

## これが川越地区会です。

### 川越地区会



川越地区会ビジョン・夢ピクチャー

川越地区会では年次の活動方針に従って、5つある委員会が持ち回りで月例の例会を開催していますが、それに加えて経営の原理原則を学ぶ「川越塾」、フリートークで気軽に経営や会社の将来を語り合う「夢みらい塾」といった学びや議論の場が毎月開催されており、これらは川越地区のみならず、他地区の会員にも参加して頂いており、活発に活動しています。これらの地区会活動の様子をホームページに掲載し、例会報告や次回の例会案内を地区会員にダイレクトメールで郵送し、例会に出席できない会員への活動内容の発信も充実しています。また新規会員の会社を訪問して企業紹介を発信する等、新規会員が地区会へ参加しやすい雰囲気作りも行っています。

(小田 明 記)

## 愚直に人を生かす経営を 実践する

### 東彩地区会

草加・八潮・三郷・吉川の4市にまたがる東彩地区は、若い会員が多く歴史も浅いですが、幹事のほとんどが経営指針成文化を成し遂げています。愚直に人を生かす経営を学び、会員同士が切磋琢磨しながら、自社経営と不離一体で良い会社づくりを実践する流れが出来つつあります。

コロナ禍で活動が制限される中でも、幹事会・例会参加率

## 「何でも一番!突っ走れ 彩北!」の巻

### 彩北地区会



2018設立総会にて

一番新しい地区会ということで、何かと軽いフットワークが自慢です。(会員数の少なさも一番↓WOW)

設立以来、折原会長の仏のようなあたたかい眼差しに見守られ、だいたいのことは許される居心地の良さ。ゆえに慣例にとらわれない、自由な発想で運営が行われています。

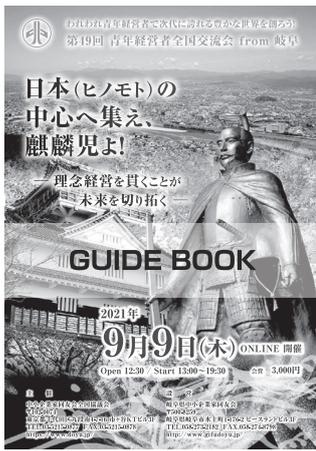
自慢1: コロナ禍になってから、県内で最初に完全Zoom総会にチャレンジ。ゲストの方々からお褒めのお言葉をいただく。

自慢2: コロナ禍になってから、例会をリアルでやってみたら陽性者発覚!→後日大変なことになると皆ビビる。

自慢3: 本年7月の例会では障がい者雇用の学びとして、特別支援学校羽生ふじ高等学園をリアル見学。直接生徒の可能性を肌で感じ、その後、実際に障がい者の受け入れを実施したメンバーも。

このように、「やってみなきゃ分からない!何ごとともチャレンジ!」の精神で皆団結して取り組んでいます。これからも彩北の暴走にはご注意ください!

(江田雅之 記)



## 第49回

## 青年経営者全国交流会 from 岐阜

日本(ヒノモト)の中心へ集え、麒麟児よ!

～理念経営を貫くことが未来を切り拓く～ 9月9日(木) ONLINE開催

9月9日、第49回青年経営者全国交流会from岐阜がオンラインで開催され、全国の熱き青年経営者が結集し、過去最高の約2500名が参加しました。

19の分科会に分かれ、「世界とつながる」をテーマとした分科会では初の試みで、日本とUAEとベトナムをオンラインでつなげた分科会が実施されました。

記念講演は、Global Mobility Service(株) 代表取締役社長 中島徳至氏から「金融包摂型FinTechサービスによる、新たな社会構造～頑張る人が報われる、貧困なき社会の実現に向け～」をテーマに講演をいただきました。

埼玉同友会からは43名が参加しました。その報告を一部ご紹介します。

## 第10分科会【岐阜】 地域が輝く企業づくり I

思わず人が集まる企業・地域を目指して ～輝くトコロには人が集まる!～

報告者:磯崎頭三氏 (株)エネファント 代表取締役)

現在32歳の報告者、磯崎頭三氏。起業してから10年。22歳で大学休学中に、たった一人で始めた会社を、10年かけて同友会活動と共に年間10億越えの会社に成長させました。成長の陰に、支えられてきたスタッフとの紆余曲折の関係性と、事業ドメインの確立が平行して進化していくことがわかる報告内容でした。

「思わず人が集まる企業というサブタイトルの通り、画面越しからもわかる社長の人柄に惹かれて、人が集まってくれるんだあ」と感じました。そんな社長も、会社では自然と活きると乱暴に考えている時期があったり、この会社では未来が見えないとナンバー2が離れてしまったり、人を生かす経営に悩んだ時期もありました。しかし、それでも同友会を通して学んだ、「人を生かす」を過去の失敗を受け止めながら実践していきます。結果、主体的に動ける最高の仲間が集まり、毎

日楽しい!と言える経営者さんになっていました。事業においても同様に好循環で地域を巻き込んでいきます。「再生可能エネルギーで地域循環を目指す」を軸に、地元電力会社やカーシェアリングなど、社会が求める会社に変化していきます。人が集まらないと成り立つことができない事業を、「ありがとう」を集めるという使命感のもと、道を拓いていく行動力。私自身とても刺激をいただくことができました。人が集まる地域の好循環をベースに、次々と夢を乗せていく手腕に脱帽でした。個人的には、気候変動が日常になりつつある暮らしを支えるべく、「災害に強い街づくり」というキーワードが印象的でした。そして、「経営者が変われば、地域が良くなる」という言葉に今後の経営のヒントを得て、しっかり青全交の学びを自社に持ち帰ることにしました。

(東部地区会 鈴木美緒 記)

## 第2分科会【中同協】 世界とつながる(海外展開・国際化)

世界中の人々がFanになる企業グループをめざして～世界とつながり日本の元気をつくりだす～

報告者:石川朋之氏 (株)Honki 代表取締役)

アドバイザー:黒瀬直宏氏 (NPO法人アジア中小企業協力機構 理事長)

石川氏の海外進出のきっかけは、農業機器の販売を依頼されたことで、お金持ちが多い国、食料の自給率が低い国、そして日本のことを好きな国を模索した結果、ドバイに行き着いたそうです。

実際にドバイに行くと、世界ナンバーワンのものがたくさんあり衝撃を受けたそうです。英語は喋れないもののその後1年ほどドバイを行ったり来たりしているうちに現在のパートナーと出会いビジネスに発展していきました。

国内では人材紹介会社を営み、ドバイではお菓子の輸出やラーメン店出店サポート、ベトナムではIT企業と提携するなど本業とは異なるビジネスを展開されていますが、今後は本業である人材紹介業に繋げて行きたいとのことでした。

重要なのはとにかく現地に行ってみること。そして信頼できるパートナーを見つけ出すことと何度も力説されていました。

今回は海外パートナー 2名もZoomでご参加いただいた国際会議となりました。日本のビジネスマンはハードワーキ

ング、有言実行、誠実、そして最後まで責任を持ってやるという他国のビジネスマンとは全く異なる特徴があり信頼できるとのことでした。

MADE IN JAPAN ブランドは今も健在で、日本の商品やサービスはそれを外国に持っていきただけでスペシャルなものになるので、海外で日本のビジネスを展開するだけで、自国のものと差別化ができるので成功する可能性が高いのです。そんな素晴らしいものがありながら、海外で日本の商品やサービスを受けることはとても少ないので尚更海外でビジネスをすれば成功する可能性が高いということでした。

どうして、日本人は競争の激しい国内で競争をするのか。ましてや人口も減っているのに同じようなビジネスは成功することはとても難しい。ぜひチャレンジしてくださいと何度も訴えていたのが印象的でした。

今後の中小企業は海外に羽ばたいていく時代だと痛感した分科会でした。

(大宮南地区会 北村政義 記)

—— 埼玉の元気を創る 中小企業家 ——

ブリッツタイム(株) (浦和地区会)

埼玉県さいたま市南区白幡4-6-10-205

TEL:048-767-3365

URL <https://blitztime.co.jp/>



### ■父親との葛藤の日々

テレビや舞台美術進行、ディスプレイ、デザイン、制作、施工を行う、ブリッツタイム(株)。

高谷さんは、服装関連の学校を卒業後、入社しました。

入社当時は会社に借金があり、その時の従業員は全員退社してしまったので高谷さんが入社しました。会社は父親が経営していましたが、親子という遠慮のない関係が災いし、仕事のやり方、進め方で口論や衝突が絶えませんでした。

高谷さん自身も会社の立て直しのために、持ち前のひたむきさで、日々がむしゃらに働きましたが、周りのことに目を向ける余裕がなく、当時の従業員に、冷たくあたることも多かったと、苦しかった時代を振り返ります。

高谷さんが入社してからは順調に借金の返済が進み、10年で完済しました。返済が終わりこれからという時に、大きな亀裂が父親との間に生じたことで、高谷さんは10年間働いた会社を去ることになりました。

退職後は学生時代からの友人と一緒に、飲食業を立ち上げます。その中で事業継続、発展させることの厳しさを学びます。「初めて父親が何を考え、どのような思いで会社の経営を行っていたのか、少し理解できたように感じました」と語ります。

### ■指針セミナーに直感を得て

飲食業の会社を経営する中、父親の健康が思わしくないと聞き、再度、会社へ戻る決意をします。その決意を父親に伝えたところ「財務の経験、知識も十分ではないから、3年ぐらい勉強してきなさい」と言われ外部の経営セミナーを探し始めます。そんな矢先、半年ほどで父親が他界してしまいます。一方の高谷さんは、なかなか気に入ったセミナーが見つからず、時間が過ぎていきましたが、ある日、知人の紹介で、同友会の経営指針セミナーのことを知ります。

これだ!と思ったら一目散の高谷さん、同友会がどういう組織なのかもわからず、入会もしていない中で、とにかく申し込んだそうです。「セミナーでは見るもの聞くもの初めてづくしでしたが、参加者と討論の中で事業に対する想いをぶつけ合い、切磋琢磨することで、随分と自分自身が磨かれたような気がします。また、セミナーで知り合えた経営者の方々に経営に関する色々な事を丁寧に教えてもらったことで、人間性、社会性、科学性の観点から新鮮で貴重な経営哲学を学ぶことが出来ました。貴重な時間を過ごせたと考えています」。



### ■指針書を手に再チャレンジ!

今まで、会社で明文化していなかった経営理念と指針でしたが、試行錯誤を重ね、セミナーで得たすべての学びと、自分の思いを乗せて、経営指針書を作り上げました。コロナ禍で、社員一同が集まり、話す機会が減ってしまいましたが、経営指針書を作成したことにより、会社として目指すところが明確になり、社員の気持ちが一つになれたことは、非常に大きかったと感じたそうです。

「10年前は社員のことはあまり考えず、目の前にある仕事と利益ばかりを考えていた」と言う高谷さんは、社員に「当時はどんな気持ちで仕事に向かい合っていたの?」と不安げに聞いたこともあるそうです。そんな中、経営指針書の発表会の日に、作った理念を発表すると、社員さんから思わぬ言葉が聞けたそうです。「自分はこういう気持ちでずっと仕事を続けてきました」。経営理念を作ったよかった、この理念でよかったのだと自信が持った瞬間でした。

「その返答は『美術を通して社会に多くの感動を与えられたら嬉しい』という、今回作成した理念に近い内容だったため、社員さんはこんな気持ちで働いてくれていたのか!と、感動し、救われた気持ちになりました」と嬉しそうに語ります。

「今後は顧客以外のあらゆるステークホルダーを意識し、またSDGsの観点からも自社の存在意義と目標を明確にして、さらに幅のある仕事をしたい」と展望を語る高谷さん。さらに「コロナ禍で社員とのコミュニケーションも取りづらい環境下ではありますが、木材の再利用、衣装、フラワーアレンジメント等、またTV、舞台に限らず、民間



企業のPR等にも参画し、社員とともに新しい会社を作り上げていきたいと考えています」と笑顔で語ってくれました。

(三友哲哉 記)

## 2021年度 関東甲信越支部長(地区会長)交流会

[2021年9月3日(金) Zoom開催]

中小企業家同友会関東甲信越ブロック主催による、関東甲信越支部長(地区会長)交流会が9月3日(金)にオンラインで開催されました。

- 事例報告1 齋藤秀樹氏〈(有)ウイステリアエステート 栃木同友会〉
- 事例報告2 横江利夫氏〈旭フォークリフト(株) 神奈川同友会〉
- 事例報告3 中田やえ子氏〈パワフル健康食品(株) 長野同友会〉



関東甲信越ブロック 湯本副会長

『コロナ禍の経営実践と同友会』というテーマで、3名の方から地区会での取組み等について報告をいただきました。経営指針セミナー受講前の羅針盤講座、小集団活動、例会時間の変更、会員企業での例会開催など、さまざまな工夫をされており、参考になりました。

グループ討論では、例会について話があり、「移動距離のデメリットがリモートでメリットになった。地区会員だけでなく、他の地区会からも参加者が増え、地区会を越えた活動ができている。結果、ゲストを誘いやすくなり会員増強につながっている」など、会員数が増えている地区会はリモートをうまく活用されていました。例会のPR方法もFBや全県の地区会にPRして参加促進をされている県もありました。私自身、地区会長として多くの方に参加いただけるようにと思っており、参考になる事例をたくさんいただきました。また、地域で同友会の認知度が上がれば、必然的に、会員数は増える。と厳しい言葉も投げかけられました。地域で同友会の認知度を上げること、リモートの良さをアピールし参加者が自社の課題意識を持って参加していただき、課題解決のヒントになる例会を地区会のみなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

(中部地区会 山崎一樹 記)

危機の時こそリーダーの役割が重要であると中同協 湯本副会長挨拶から始まり栃木同友会、神奈川同友会、長野同友会、各支部30分の事例報告を受けました。相模原支部のシンプルで分かり易い活動方針「仲良くなるう」が印象的でした。7～8名の小グループに分かれグループ内交流を活発に行う事でお互いを知り、理解し、語り合いが出来る仲間になるまでの工夫が紹介されていて、同友会の価値共有意義が分かり易く説明されていました。リアルで会う事に価値があると横江支部長の熱意が支部内に浸透し純増11名とすばらしい結果報告内容でした。各支部共通していることは同友会活動の目的を明確にした活動方針を掲げているところと、同友会の学びを経営活動実践へつなげているところです。同友会でできないことは会社でもできない、増だけでは良くなり強と両輪にすることが必要と認識を新たにしました。グループ討論では躍進出来る支部作りについて意見交換を交わしました。東部地区会と同じ課題を持つ支部からヒントを得られ地区会長としてのあり方を学ぶ有難い時間になりました。また地区会の成長は他者からの評価を実態と受け止める客観性が必要であることも気づかされました。

(東部地区会 上野広美 記)

## 各地区会で開催された例会をご紹介します。

### 【東部地区会・青年部8月例会】

### 広げよう繋げよう同友会の学びの輪 ～挑戦と感動の企業づくり～

報告者：中田やえ子氏〈パワフル健康食品(株) 取締役特販部長〉



長野県同友会所属の中田やえ子氏は、埼玉県青年部での学びをきっかけに長野県にゼロから青年部を立ち上げ、さらには自社内に青年部を作り会社の成長につなげていました。

中田氏の報告から、タテ(地区内)のつながりとヨコ(地区外)のつながりの双方で学びを深め、同友会を広く活用することの大切さを学べたと思いま

す。

グループ討論では、東部地区・青年部合同例会の利点を生かし、日頃顔を合わせないような会員さんとの幅広い交流が図れ、他地区・他県とのつながりができ、業種・世代・エリアを

超えた幅広い意見交換ができたようです。

経営者自身がより主体的となって、全国行事を含めた同友会を広く活用する必要性とキッカケづくりができた例会となりました。

(東部地区会 三浦智和 記)

### 【川口地区会8月例会】

### 経営姿勢の確立は強靱な企業への第一歩! ～経営指針を作ろう～

報告者：中島伊都子氏〈中島製本(株) 代表取締役社長〉

経営指針を作成した動機や成果について報告をいただきました。

中島氏はマンガ週刊誌などの製本を手掛けている会社を継承して8年になります。創業者の影響で、本業一筋で経営してきましたが、経営指針セミナーに参加して、自分で戦略を考えて自由に経営していいと思えるようになったそうです。

「製本技術の深堀」、「新規事業への着手」が指針の2本柱です。

新規事業として、社員のアイデアを取り入れて「マスクケース」を開発しています。デザインは学生時代に漫画部



だった社員が担当し、好きなデザインということもあり熱心に取り組んでくれました。社員に好きなことをしてもらうことが生産性に結びつくと感じます。社員1人ひとりの思いを形にする「わくわくものづくりカンパニー」を目指しています。

グループ討論では、「自分の思いを明確に伝えていくことが大切」「社長が細かい指示を出しすぎると社員の自発性を阻害する」など、活発に意見が交わされました。

経営に真摯に向き合うことによって、会社が大きく変わり、社員の意欲も高まることを共有できた例会でした。

(碓 康雄 記)

### 【川越地区会8月例会】

## 「大きなかぶ」はなぜ抜けた？ 自主・民主・連帯の精神で企業変革をなそう

経営実践報告：沼田加奈恵氏〈株ゆめキッズ 運営責任者〉

経営実践報告：大沼 崇氏〈株未央測地設計 代表取締役〉

経営ショートエッセンス：吉田雄亮氏

〈株吉田電工 代表取締役(戸田・蕨地区会)〉

8月24日(火)に川越地区会8月例会がリモートにて開催されました。

3部に分けて行いました。第1部は新入会員による事業報告、第2部は県の前経営労働委員長による経営ショートエッセンス、第3部は大懇親会(Zoom)としました。

前月の例会では、仲間を舞台へ押し上げてあげることの重要性について話されていましたが、8月例会では新入会員2名が事業について、パワーポイントを使って話をしました。

株ゆめキッズ 沼田さんには、知的障害のある方の学習支援の取り組みを写真を多様して説明いただきました。小学生から高校生までが事業の対象者なので、その後の進路指導に実績のある方たちと知り合い、社会に役に立つ人財育成を一貫して行いたいとお話されました。

大沼さんは、同友会2度目の入会です。測量設計の仕事の概要と携帯基地局のプランナー、インフラ設備の老朽化対策を仕事にしている方と知り合いたいと話されていました。

吉田副代表理事は、経営数値の内の利益・減価償却費・投資・返済原資について、自社の借り入れと返済計画の実際の数字を使って説明していただきました。大きな投資を実行しましたが、この計画を社内で相談した時、「女性は積極的・男性は慎重」だったとか。具体的数字は説得力があります。投資できる会社であるために、数字の把握能力が重要だとご指

摘いただきました。

第3部は、飲食をしながら、ざっくばらんな懇親会を行い経営の失敗大暴露で盛り上がりました。ベテラン会員さんは、失敗はしたけれど、後悔はしていないと一様に話されるのが印象的でした。失敗のもとを十分に取返したからなのかと思いました。運営には、地区会員に随所でフォローをしていただき、アットホームな例会を行うことが出来ました。同友会員の温かさに触れることのできる8月懇親例会となりました。

(今江純子 記)

### 【埼葛地区会9月例会】

## 地域課題解決に市民・行政と取り組もう ～地域ではみんなの顔が見えるのが心地良い～

報告者：白石博己氏〈株中原 代表取締役〉

パネリスト：

新井友和 氏〈杉戸町商工観光課 課長〉

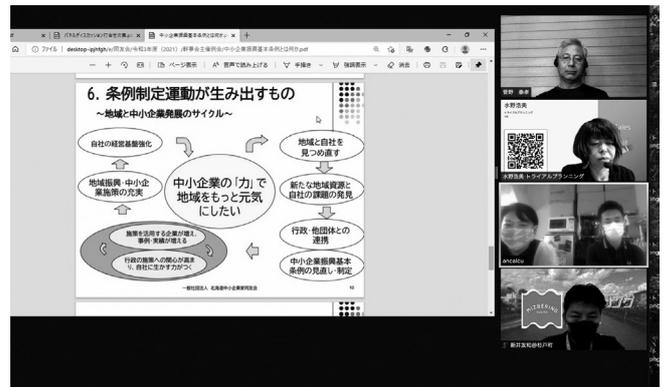
榎本恭一 氏〈宮代町産業観光課 副課長〉

菅野泰孝 氏〈株菅野建築事務所 代表取締役〉

赤井美津江氏〈アンカルク株 代表取締役〉

コーディネーター：

水野浩美氏〈トライアルプランニング 代表〉



9月例会は、行政の方をお迎えして「地域を考える」コラボ例会をオンラインにて開催致しました。すでに埼葛地区会では、久喜市中小企業・小規模企業振興基本条例において、策定時から携わってまいりましたが、実際のところ、会員の多くは、難しい、関わり方が良くわからないと、倦厭されがちなのが現状でした。そこで今回は、隣接する杉戸町、宮代町に焦点を当て、実務担当者から取り組みを伺い、そこに関わる企業、住民といった4つの視点から、パネルディスカッションを行いました。顔が見える関係性というのは、大変重要であり、さらに、双方が寄り添う事で、新たなヒントがうまれるのではないかと確信しました。このように、同友会だけではなく、地域を巻き込み、例会に取り組めた事は、埼葛地区会にとっても、大きな収穫だったのではないのでしょうか。また、顔の見える関係性は、これで終わりにすることなく、継続的な活動として、これからも、進めて参りたいと思っています。

それぞれが持つ、地域の強みと協業し、次は「事業」の発展に繋がりたいと感じました。

(水野浩美 記)

新たな辞書の1ページ **新入会員紹介** (9/1~)



**森 拓也**  
サクセス・マネジメント・  
コンサルティング税理士事務所  
川越地区会  
税理士事務所、不動産賃貸経営、経営コンサルティング



**弦巻義範**  
株D-FORP  
浦和地区会  
木造建築物の構造図・構造計算書作成及び意匠図作成・代願申請



**山崎 真之介**  
株イイワット  
川口地区会  
各種サービス、商品のコンサル(コスト削減等)



**閑野高広**  
街パレット  
さくら地区会  
生花販売業



**中山 顕一**  
メディカルアシスト(株)  
川越地区会  
介護事業、有料職業紹介事業、労働者派遣事業

◆ **訃報** 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

さくら地区会 大澤 誠会員がご逝去されました

● **会員information**

《住所・FAX変更》

埼玉地区会 アーミー設計 新井光男会員  
〒346-0014 埼玉県久喜市吉羽2180-7  
FAX: 利用廃止

《住所変更》

大宮南地区会 社会福祉法人 独歩 串田哲也会員  
〒331-0078 埼玉県さいたま市西区西大宮  
3-19-12 独歩ビル1F

浦和地区会 (株)ケイハート 北川登美代会員  
〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町  
2-6-1 星野ビル202

川越地区会 (同)ありがとう 前田徹浩会員  
〒357-0126 埼玉県飯能市下赤工326-5

《住所表示変更》

戸田・蕨地区会 大興石油(株) 岡田 康会員  
〒335-0038 埼玉県戸田市美女木北2-8-3  
(変更実施日:2021年11月1日)

《住所・TEL・FAX・社名変更》

東部地区会 (株)ナレッジフォース 生田 学会員  
(株)イーアンドエスへ  
〒120-0026 東京都足立区千住旭町23-3  
ひばちビル4階  
TEL:03-5284-3181 FAX:03-5284-3182

● **同友会日誌** 9月1日~30日

- 1日(水) 浦和幹事会、埼玉葛幹事会、むさし野幹事会、中部幹事会  
経営問題解決会議(浦和)
- 2日(木) 正副代表理事会議
- 3日(金) 関東甲信越支部長(地区会長)交流会、経営労働委員会  
大宮中央幹事会
- 6日(月) 東彩幹事会、彩北幹事会、さくら幹事会
- 7日(火) 人を生かす経営勉強会、大宮東幹事会、川口幹事会  
川越幹事会、西部幹事会、大宮南幹事会
- 8日(水) 経営指針づくりセミナー【6講 戦略編③】
- 10日(金) 仕事づくり委員会
- 13日(月) ファム幹事会、ミニ報告会
- 14日(火) 障全交正副リーダー会議、共同求人委員会  
障害者雇用推進委員会、西部例会
- 15日(水) むさし野例会、浦和例会、埼玉葛例会
- 16日(木) 川口・政策委員会合同例会、大宮東・大宮南合同例会、  
大宮中央例会、東部例会、戸田・蕨例会
- 17日(金) 合同企業説明会、理事・地区幹事研修会
- 19日(日) 北部例会
- 21日(火) リフレッシュ研修会【社員教育委員会】、川越例会  
さくら例会、彩北例会
- 22日(水) 第21回障害者問題全国交流会from埼玉へ向けての学習会  
中部例会
- 24日(金) 障全交実行委員会
- 27日(月) 政策委員会、青年部例会、むさし野正副連絡会
- 28日(火) 第2回長期ビジョン検討会、社員教育委員会
- 29日(水) 青年部幹事会
- 30日(木) 障全交へ向けたIT研修(設営チーム主催)

**会員数**

2021年9月28日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	59	大 宮 南	75	北 部	30
戸 田・蕨	47	西 部	39	さ くら	86
浦 和	78	むさし野	98	川 越	87
大 宮 東	37	東 部	127	東 彩	55
大宮中央	33	中 部	46	彩 北	17
		埼 葛	49	計	963

**編集後記**

今回の特集ページ「各地区会自慢」では、各地区会の特色を改めて感じることができ、もっと他地区会の方と交流や、他地区例会へ積極的に参加してみたいと強く思いました。そして、自分の地区でも取り入れたい内容などもたくさんありました。今後の例会づくりの参考にしていきたいと思っています。そして、私は今年初めて広報情報化委員会に参加させて頂きましたが、事務局との連携体制・各地区会の委員と情報共有などで、多くの人に関わって作り上げていく広報物の重みなど、改めて学び多い広報情報化委員会。今後も楽しみながら参加していきたいと思っています！  
(川口地区会 福井千波 記)

# コロナ禍の逆境。前年比売上70%ダウン。 Twitter「#プリーツ」で起死回生!



社内縫製現場

## ■アパレル業との出会いと家業

埼玉県吉川市でアパレル縫製業を営む、(株)生田プリーツの生田貴之氏。幼少期から地元、吉川で育ち、高校生の頃は、なんとなくどこかに就職するのだらうと思っていたそうです。大学に進学した時、ちょうど家業が忙しくなったので、親の仕事を手伝うようになると、「けっこう楽しいな」と思うようになりました。ある日、渋谷を歩いていると、なんと、自分が折ったプリーツのスカート履いている女の子を見て、一目惚れ…ではないのですが、自分が作った商品、作品を、着てもらえることに喜びを感じ、大学を卒業後、家業である(株)生田プリーツで働く事になりました。洋服の勉強をしたことがなかったので、働きながら夜間の服飾専門学校に通い、そこで出会った友人とアパレルブランドを立ち上げます。3年間頑張ったのですが、軌道にはのらず諦めます。しかし、下請けでなく一から企画し、縫製し、販売までのフローを体験できた事が、今に生きているそうです。

## ■同友会との出会い

同友会との出会いは、吉川市商工会青年部長時代。東彩地区例会の企画で他団体を巻き込む地域づくりの例会がきっかけです。当時の生田氏は、儲からないし、人も安定しない、若い子が入ったのにすぐ辞めるし…と、ちょうど、経営に悩んでいたときでした。「同友会の学びは自分に必要だ!」と、すぐに入会を決め、翌年経営指針セミナーにて、指針を成文化しました。

見たくないものは見ないようにしていましたが、問題を直視することができるようになりました。「成文化したことで未来を描き、意識して計画できるよ



◀なまりんマスク  
吉川市のキャラクターマスク。ふるさと納税商品として、全国的に販売されている。

うになりました。ただ、相変わらず数字は苦手ですね。」と謙遜気味に語ります。

## ■コロナ直撃!業界の問題が浮き彫りに

コロナで大打撃を受けたアパレル業。その影は生田プリーツにも。2020年4月時点で、以降3ヶ月間は、売上70%ダウンが見えていたそうです。しかし、社員さんを休ませることなく、新規に防護服の製造、マスクの製造販売をして、急場を凌ぐことができました。

もともと無理して在庫をつくるような業界。無駄に作る事があたりまえの業界が変わる事になると、生田氏は思ったそうです。「コロナで既存の仕事は減ったがもう戻りません。安価での大量製造ではなく、高単価少量製造になる。高単価なものをじっくりつくること、実は、日本でのものづくりはこれなのです!」と生田氏は語ります。



プリーツ仕上げ寮

## ■Twitter「#プリーツ」で起死回生!

日本一のプリーツ加工を目指し、Twitterで発信を始めたところ、驚くような反響がありました。プリーツと服飾縫製の発信をし続ける中で、ニッチな相談を受けるようになります。そして、服飾専門学生の卒業制作におけるプリーツ加工の無料体験などの企画が始まりました。その流れで、プリーツ加工の仕事だけでなく、隣接異業種からも注文が入ってくるようになりました。そして、極めつけは採用。来春新卒の募集をかけてみると、なんと、20名から応募があり、そこから2名の採用を決めました。

「経営はなかなか安定しませんが、5、10年先を見据えて、若い人を採用しないと会社、業界が存続しない。実は縫製業は、高齢の方が、安い単価で仕事を受けてしまっていることが常態化していて、若い人に仕事がまわらなくなってしまっているところも多いのです」。そんな中、生田プリーツ内の最高齢の職人さんは、なんと86歳。「若手への技術承継が急務ですね。Twitterを始めたことで、課題の仕事受注と、採用難が改善できました。これからは、もっとプリーツ技術に特化し、自社商品の販売を活発化させます!」と生田氏は楽しそうに話されました。

(齊藤 壽和 記)



## 生田 貴之

いくた たかひこ

(株)生田プリーツ  
東彩地区会

埼玉県吉川市中野137  
TEL:048-982-7861  
FAX:048-940-9777

Twitter  
<https://twitter.com/ikuta1>

Instagram  
<https://www.instagram.com/ikutapleats/>

ECサイト  
<https://hibi.store>

## 埼玉同友会 広報情報化委員

### ●委員長●

東 彩 齊藤壽和

### ●副委員長●

川 越 小田 明

埼 葛 松本賢二

中 部 矢澤敦臣

戸田・蔵 石井孝徳

### ●委 員●

川 口 福井千波

山本佳奈子

戸田・蔵 木村亮介

浦 和 酒井 啓

小林吉文

三友哲哉

大森靖之

大宮東 柴田大智

大宮中央 鈴木光義

大宮南 加藤早苗

高橋浩明

西 部 網川めぐみ

村里忠輔

むさし野 古崎千穂

東 部 鈴木一朗

宇野碧留

藤元天美

島袋輝仁

小川洋一

中 部 中山晴喜

埼 葛 今村達郎

北 部 東禎章

さくら 水野純子

遠藤裕行

彩 北 江田雅之

### ●制作担当●

杉込博久

●印刷・製本●

加藤早苗

●事務局●

古川佳子

(順不同・敬称略)